

自然と歴史

蒜山高原は、蒜山三座(上蒜山、中蒜山、下蒜山)を臨む牧草地でジャージー牛が草を食む、標高 500～600 メートルの高原です。高原の登山道沿いには、カタクリやイワカガミのようなたくさんの野の花が咲いています。豊かな草原を守るため、長年の間、毎年春になると、山焼きという伝統的な活動が行われます。山焼きとは、山の斜面に火をつけることを含む、管理された方法です。この伝統は、家畜を放牧するための新しい草の成長を促しますが、この地に生息する虫や植物を守る草原を維持することにも役立っています。この活動なしでは環境は変わり、ユニークな動植物は徐々に消滅してしまうでしょう。

蒜山高原は、日本最大で最も有名なジャージー牛の飼育場です。春には、山焼きや雲海から姿を現す山々を見ることができます。岡山と鳥取の県境にある鬼女台展望台では、蒜山高原から大山までの息をのむようなパノラマを見ることができます。

アクティビティ

蒜山高原では、ハイキング、キャンプ、サイクリングを楽しめます。木からつるされた常設のグランピングサイトや、草原の素晴らしい景色を楽しめるキャンプ場など、いくつかのキャンプ場があります。蒜山高原のサイクリングロードは約 30 キロで、ハイキングコースは、雄大な景色が望める周辺の山へ続いています。